

コマツ

コマツは情報化施工が先行する先進国で、ICT油圧ショベル「PC200i-10」、「PC210LCi-10」の市場導入を開始している。ICT油圧ショベルはGNSS（GPS+GLONASS）アンテナと基準局から得たバケット刃先の位置情報を施工設計データに照合しながら、設計面を傷つけないように作業機（ブーム、アーム、バケット）操作を制御する。

主な特徴は①インテリジェントマシンコントロール技術で自動設置アシスト、自動停止制御、最短距離制御が可能②主要ICTコンポーネントは車体生産時に内製化されており、高い信頼性を確保。正確な作業機位置をリアルタイムで把握できるなど。同社が施工の自動化実現を目指し、2013年に市場導入したICTブルドーザーに続く「ICT建機」の第二弾だ。

ヤマモトロックマシ

ヤマモトロックマシンの油圧式割岩機「ビッグ」は、無騒音・無振動だ。狭い場所でも安全で、他作業の同時並行が可能のため、作業性にも優れる。

中硬岩以上の小・中規模の掘削工事に適する。発破工法と比べ飛散物がなく岩盤の割れ方向が制御・予測可能なため正確で効率的に作業ができる。汎用の油圧ショベル（0.45〜0.7立方メートル）に装着可能。ビッグによる岩盤破砕工法は、土木工事で主流の火薬などでの爆破や大型ブリーカーでの破砕で発生する騒音や振動はなく、安全性も向上して環境にも作業者にもやさしい工法といえる。

コベルコクレーン

国交省新技術情報提供システム（NETIS）は新技術情報の共有や提供を目的に構築されたもの。超低騒音機構や省エネシステムといった独自技術によって、コベルコクレーンの幅広い製品ラインアップが登録されている。

「パンサーX250」は高まる環境負荷低減へのニーズに応えるため、コンパクトな車体をキープしつつエンジン排気構造のレイアウトを一新し、作業時騒音を低減。超低騒音型建設機械指定を実現した。「マスターテックGシリーズ/BMGシリーズ」（8機種）は省エネシステム「Gモード」搭載のクローラークレーン。「Gモード」はオートアイドリングストップ、Gエンジン、Gウインチという三つの機能により、燃料消費量を従来機比最大25%カットでき

タダノ

タダノはラフテレーンクレーン「CREVO G3α」シリーズに25tから70tフリックラスの中間をカバーする機種として、要望が多かった50tフリックレーンを加えた。

同クレーンの主な特徴はコンパクトな3軸キャリアを新開発し、前2軸、後1軸の3軸が車両重量を分散。全幅2780mmは通行許可申請において有利だ。キャリア長は9530

mmで、機動性にも優れる。また、クラス最長の17.7mの3段フルオートジブを搭載。ふところの深い高揚程作業に対応した。そのほか、環境に配慮した「燃料消費モニター」「エコモード」「ボジティブ・コントロール」を搭載。コナーと情報を共有する「HELLO-NET」も装備している。低騒音型建設機械の指定取得も予定

環境のために新しく生まれ変わる。
創造のために機能の向上を追及する。
進化を続けてCREVOは

CREVO G3α シリーズへ。



CREVO700G3α
GR-700N
つり上げ荷重：70t



CREVO250G3α
GR-250N
つり上げ荷重：25t



CREVO160G3α
GR-160N
つり上げ荷重：16t



CREVOminiG3α
GR-130NL/N
つり上げ荷重：13t/4.9t

第3世代の「G3」をさらに向上させた「G3α」。クリーンで低騒音、燃費の良さや安全性能にも注目です。これからの大きなプロジェクトを支えるのは、この「優しい高性能」。ついに「CREVO G3α」のシリーズ4機種が揃いました。